

## アフガニスタンとアメリカ合衆国 1945-1963 年: 国務省機密文書

### Afghanistan and the US, 1945-1963

### Records of US State Department Classified Files

アフガニスタンの国内政治、外交、独立国家としての存立は歴史的に、中央アジア、西アジア、南アジアの十字路に位置する地理的条件により規定されてきました。近代以前と同様、近代に入ると外国の軍隊はこの地を経由し、一時的に支配し、時にその支配権は近隣のイランとインドまで及びました。アフガニスタンの形成にはイスラーム教もまた、重要な役割を歴史的に果たしてきました。2,000 年にわたり、帝国が支配し通商が繁栄したアフガニスタンが真に独立国家を形成するに至ったのは、ようやく 20 世紀になってからに過ぎません。

20 世紀の大半の期間、アフガニスタンは中立を維持しました。第二次世界大戦には参戦せず、冷戦時代は東西陣営のいずれとも同盟関係を持つことはありませんでした。それどころか、ソ連と米国が道路、空港、上下水道、病院などのインフラ整備の支援をすることでアフガニスタンに対する影響力を競い合っていたことを考えると、アフガニスタンは冷戦の受益者であったとも言えます。

本コレクションは、1945 年から 1963 年までの冷戦時代のアフガニスタンの実情を米国国務省の機密文書から探るものです。米国国務省機密文書は、20 世紀世界各国の政治、軍事、社会、経済を米国外交当局から分析、報告した資料集です。冷戦時代の中立地域アフガニスタンの諸相が、冷戦の一方の当事者である米国の眼を通して浮かび上がってきます。

#### <収録資料の種類>

- ◆ 政治・軍事に関する特別報告
- ◆ 社会経済事情の研究と統計
- ◆ アフガン政府要人との会談・議事録
- ◆ 訴訟記録
- ◆ アフガン駐在外交官と国務省の往復書簡
- ◆ アフガンの新聞記事の報告と翻訳
- ◆ アフガン政府高官の演説・覚書・公式報告・会議録の翻訳

#### <収録資料の主題>

- ◆ 政党・選挙
- ◆ 暴動・革命
- ◆ 人権
- ◆ 政府
- ◆ 行政
- ◆ 財政・金融
- ◆ 労働
- ◆ 住宅
- ◆ 治安・犯罪
- ◆ 公衆衛生
- ◆ 国防
- ◆ 外交政策立案
- ◆ 戦争・軍事同盟
- ◆ 教育
- ◆ 宗教
- ◆ 文化
- ◆ 貿易
- ◆ 産業
- ◆ 外交
- ◆ 天然資源

- ◆ 収録期間: 1945 年-1963 年
- ◆ 収録資料の規模: 9,674 images
- ◆ 原資料所蔵機関: 米国公文書館(国務省旧蔵)